

## 仙台大学通信教育指導室メールマガジン 第77号

通信教育指導室から、こんにちは。

今回は、【一般動詞】一すなわち、【am, are, is】以外の動詞のことについて、再確認していきましょう。

### 【 am、 are、 is 】以外の動詞 ⇒ 一般動詞

#### ■ 一般動詞のイメージをつかもう

次の英文（詩？）を読んで、一般動詞のイメージをつかみとりましょう。

教室では、一般動詞の意味の部分を（ ）にして、動詞の意味をグループで考えさせると、いろいろな考えが出て、温かい雰囲気の良い授業になります。

君たちは家族にとって、大切な宝です。君たちの成長は、同時に家族の喜びでした。

- |                          |      |            |
|--------------------------|------|------------|
| ① You <b>cry</b> .       | あなたは | (オギャーと泣く)。 |
| ② You <b>drink</b> milk. | あなたは | (おっぱいを飲む)。 |
| ③ You <b>sleep</b> .     | あなたは | (ねんねする)。   |
| ④ You <b>smile</b> .     | あなたは | (ニコッと笑う)。  |
| ⑤ You <b>sit</b> .       | あなたは | (おすわりをする)。 |
| ⑥ You <b>crawl</b> .     | あなたは | (ハイハイをする)。 |



- |                             |      |                     |
|-----------------------------|------|---------------------|
| ⑦ You <b>speak</b> .        | あなたは | (片言をしゃべる)。          |
| ⑧ You <b>stand</b> .        | あなたは | (つかまり立ちする (タッチする))。 |
| ⑨ You <b>walk</b> .         | あなたは | (よちよち歩きをする)。        |
| ⑩ You <b>run</b> .          | あなたは | (ちょちょこ走る)。          |
| ⑪ I <u>am</u> happy.        | わたしは | 幸せ <u>です</u> 。      |
| ⑫ We <u>are</u> very happy. | 私たちは | とても幸せ <u>です</u> 。   |

君たちや君たちの家族は、そのときどきを、懸命に生きてきたのです。

「こんなの楽勝だよ」と知ったかぶりの子どもたちも、⑥の **crawl** のところで、「アレッ」と固まってしまいます。

むしろ、英語を苦手とする子どもの方やスイミングに通っている子どもの方が、クロールの動作を実際にしながら「ハイハイだ！」と冴えたアイデアを出してくれたりします。すかさず、「〇〇さん、いいね」と声をかけてやりましょう。

こうして、楽しくホンワカと導入できたら、一般動詞はOKです。

## ■ 英文に【 am、are、is 】がない ⇒ 一般動詞の文を疑問文にするには？

英文の中に【 am、are、is 】が入っていれば、【 am、are、is 】を文の先頭に出せば、疑問文ができ上がりますが、肝心の【 am、are、is 】が入っていないときは、どうすればいいのでしょうか。さて、困りました。

大丈夫です。こんなときは、われらが ≪ **Do (ドゥ) おじさん** ≫ が助けてくれます。みんなで、窓の外に向かって ≪ Do おじさーん ≫ と呼んでみよう！

子どもたち：お願い、Do おじさーん！ 助けて～～！

すると、どうでしょう！

われらが ≪ Do おじさん ≫ が、青いマントを翻しながら現れ、文の先頭にピタっとくっついてくれるではありませんか。



- (1) 文の先頭に Do がつきます。
- (2) 次の単語は小文字で始めます。ただし、名前のときは大文字のままでOKです。
- (3) 最後に「？」(クエスチョンマーク)をつけます。

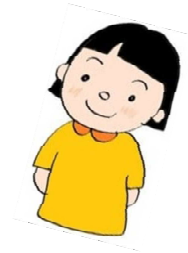
You get up at six.

**Do** you get up at six?

Yes, I **do**.

No, I **don't**. I get up at five.

これで完璧です！



それでは、次の文のように、一般動詞に「s」がついているときはどうするの？

Masao gets**s** up at six.

文中に【 am、are、is 】がないので、やはり ≪ Do おじさん ≫ を呼びます。

≪ Do おじさん ≫ は上空から目ざとく「s」を見つけます。

このとき、助けもらうお礼に「s」を差し上げるのが鉄則です。

これは絶対忘れてはいけません！

≪ Do おじさん ≫ は、お礼をもらって嬉しさのあまり ≪ **Does (ダズ) おばさん** ≫ に変身します。

Masao gets**s** up at six.

**Does** Masao get up at six?

Yes, he **does**.

No, he **doesn't**. He gets up at seven fifteen.



【 am、are、is 】がなければ、**Do おじさん** (**Does おばさん**) です。簡単だね！